



文責 仙洞田茂雄

# 北東中だより

北東生 築け勝利のかけ橋を



## 二葉祭で見せた輝き



9月11日～12日、第56回二葉祭が秋空の中開催されました。本年度のテーマは「飛躍～新たなる段階へ」。1学期より長い時間生徒会執行部を中心に全校で取り組んできました。2学期が始まり天候に恵まれず、晴れ間をぬっての練習は思うようにならず、準備・練習とも大変だったと思います。しかし当日は願いが叶い、秋晴れの中実施することができました。文化部門では、学年発表を中心に、学年展示、夏休みの研修発表や吹奏楽、美術部、弁論発表。また、PTAによるバザーや父母作品展など多くの感動をのせて繰り広げられました。また、体育部門では各ブロックや学年競技、むかでや全員リレーなど、笑顔あり涙あり、歓喜の渦の中に見えた生徒の姿に何度も感動しました。1・2年生は来年に新たな伝統を築いてほしい。3年生はこれが中学校生活最後なんだなど、何とも言えない気持ちになりました。

グラウンドでの閉祭宣言、勝者も敗者もない、全てをやり遂げた達成感の中、風に揺れ秋空に消えていく風船を見上げ、しばし二葉祭の余韻に浸りながら思い出の1コマ1コマを振り返っていたのだと思います。初めての二葉祭、頑張った1年生、成長ぶりを発揮した2年生の素晴らしさ、随所に感動的な場面を見せ、新たな道を築き全校をリードし精一杯頑張った3年生、本当にありがとう。第56回二葉祭で見せた一人一人の輝きが、新たなステージへの指針となり、心に刻まれたことと思います。



3年生学年発表と全校制作



吹奏楽部演奏



3年生学年発表「飛躍」



体育部門入場行進



2年学年発表合唱



2年学年発表「未来は僕らの手中」



全員リレー バトンは絆



優勝！歓喜の瞬間



団結の証 ムカデリレー



2年学年競技「グリーンクローバーダービー」



さあ〜何回跳べるか 長縄跳び



縦割り種目 玉入れ



3年学年競技「心を一つに」



1年学年競技「キックアンドダッシュ」



展示部門



1年 学年発表「幸せのカタチ」



勇猛なる気力を奮い起こし精進(学問)を怠らざる事



体育部門 開会式



閉祭式での応援委員



最後までもつれた3年むかでリレー



閉祭式 生徒会本部役員



## ～中国成都市友好使節団研修～

今回の中国研修は、様々な事を学ぶことができた実りの多い研修となりました。その中でも特に印象深かったことは、現地の中学生との交流です。私達派遣団は、日本と中国とのより良い関係を築くために中国の成都市にある学校を訪問しました。そこで出会った57名の中学生は、みんなとても親切に温かく私達を迎えてくれました。一緒にゲームや工作、食事や水墨画等色々なことをして体験し、時の流れを忘れてしまいました。8日間の経験は自分の道を世界へと広げる第1歩となりました。これからはもっと強く、そして大きな日中のかけ橋がつくれるよう、この経験を忘れずに人の為に頑張れる人になりたいと思いました。

～3年3組 根津もか～

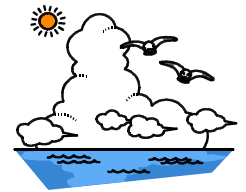
## ～広島平和記念式典での経験～

今年の夏、甲府市の代表として広島に行ったことは、私にとってとても貴重な体験になった。広島に着いて最初に行ったのは、原爆の子の像だった。その像やそのそばにあった千羽鶴から、たくさんの人の平和への願いを感じた。その後初めて実際に見た原爆ドームからは、写真を見るだけでは感じられない衝撃を受けた。むき出しになった天井の鉄骨、崩れた壁や曲がった階段などから原爆の恐ろしさが伝わってきた。2日目に参加した広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式典は、平和の鐘や平和宣言を聞きながら平和についてより深く考える機会となった。この広島での経験で、私は以前より核兵器の廃絶や、争いのない平和な世界への願いが明確になったと思う。また、戦後70年という節目の年に広島へ行けたということも忘れずに、これからの人生にいかしていきたい。

～3年4組 松村 信～

## ～八丈島海洋道中に参加して～

僕はこの企画に参加して、人生で一番良い体験をしたと思いました。年上の人やメンバーの全ての人がとても温かく接してくれ、友達もすぐにできました。八丈島には「橘丸」という船で行き、疲れていたのかよく眠れました。朝、船の甲板から太陽が水平線から上るのを見て、今回の挑戦は必ず成功すると確信しました。島に着いて、まずテントを仲間と協力して一生懸命に立てました。ベースキャンプ近くには海があり、大きなウミガメをみることが出来ました。野生のウミガメを見たのは初めてで、とてもうれしかったです。そして一番心に残っているのは「サバイバル 踏破」です。今まで歩いたことのない道のりを仲間と励ましあいながら、2日間歩くことによって得た体験は、一人ではできないことも仲間となら乗り越えられるという、今までにない達成感を味わうことができました。この9日間は、ただの9日間ではなく、自分自身を大きく成長させてくれた9日間でした。



～1年3組 武井 大和～

## ～世界ジャンボリーに参加して～

7月27日から13日間、山口県で世界ボーイスカウトジャンボリーが開かれました。ここには世界152カ国から33,832人もスカウトが集まり、僕もその一人として参加しました。外国の人と生活していく中で1番感じたことは、英語の大切さです。英語が公用語ではない国の人たちが、母国語のように英語を話しているのを見て驚きました。そして、英語が話せれば、世界中の人と繋がることができるということを痛感しました。また、外国の人達と英語で会話をする中で友達になり、コミュニケーションをとる中で「もっと英語を話したい」と思いました。この世界ジャンボリーでの経験をしっかり心に刻んでおきたいです。

～3年1組 内藤 大智～

## ～危機管理研修・小中連携～

この夏、本校の先生方全員で危機管理研修を実施してきました。AED（自動対外式除細動器）の活用実施研修や、学校におけるアレルギー症状に伴うエピペン使用方法の実施訓練、難聴教育研修等、専門家を講師でお迎えし、緊急を要した場合の対応の仕方を学びました。訓練は何度も行わないといざという時に行動に移すことができないため、日頃からの危機管理意識を高めていきたいと思えます。また、初めて北東中学校、相川小、新紺屋小の先生方全員が集まり、北東公民館において研修を行いました。学習面や生活面、今後の課題等を共に乗り越え連携し、9カ年を見越したより良い教育活動が展開できるよう今後も研修を重ねていきたいと考えております。



AED実技講習会



エピペン実施訓練



難聴教育講習



北東学区小中連携研究会



# 公開道徳授業

# 「飯田蛇笏・龍太と俳句」 移動文学館開催

下記の日程で全学級で道徳の授業を行います。2学年では「命の尊さを考える授業」として学年全体での講演会を行います。保護者や地域の方々を対象に公開をしますので、大勢の方に足を運んでいただき生徒の豊かな心の育成についてもご意見やご指導をいただきたいと思ひます。

公開道徳授業（1・3年）及び講演会（2年）

日時：10月31日（土） 5校時  
（午後1時30分～14時20分）

講演の紹介 ～体験談から考えるがんのこと  
がん予防について～



講師 山梨がんアクション協議会事務局  
NPO法人がんフォーラム山梨事務局  
ピアサポーター 清水 美智子 様

1学期、文学館との連携で移動文学館「石川啄木展」を開催しました。短歌の前で、しばし立ち止まり思いにふける子どもたちの姿を忘れません。とかく時間に追われながらの現代社会では、そんな時間が大切です。それは大人も同じかもしれません。

今回も文学館と連携し、山梨にゆかりのある「飯田蛇笏・龍太親子と俳句」と題して、11月4日まで校内で展示します。この秋にどんな文学と出会い、芸術の秋となるか、しばし俳句に親しみながら自分と向きあう時間も大切ではないかと思ひます。校舎内には、啄木短歌10点、飯田蛇笏・龍太俳句10点等もあり、地域の方もぜひお立ち寄りいただければと思ひます。



## 考えよう情報社会

甲府市中学生交通安全・防犯弁論大会出場「ながらスマホの危険性」2年 小林柚夢

皆さんは「歩きスマホ禁止」を呼びかける広告を見たことがありますか。僕は、夏休みに旅行で行った東京の、とある駅の構内でその広告を見ました。スマホの普及とともに、この行為をする人は年々増加傾向にあり、社会的な問題となっているのです。スマホに気をとられ、周囲の状況を把握しにくくなることで様々な危険が生じるからです。ニュースでも、歩きスマホをしていて駅のホームから転落してしまったり事故の報道を見たことがあります。このような事故は今後も後を絶たず、街に危険があふれることが予想でき、とても心配です。また、自転車や自動車を運転しながらスマホを操作する「ながらスマホ」もまた大きな問題となっているのです。運転しながらとあつては、その危険度は何十倍、何百倍にも増幅するはずで、周りの人々に傷を負わせたり、最悪の場合は、その命を奪ってしまうことになるかもしれません。調べてみると、すでに海外には条例で歩きスマホを規制している地域があるようです。しかし、現在の日本では、歩きスマホを取り締まる法律はありません。ゲーム機能、SNS機能、ナビゲーション機能…と、スマホの進化はとどまることを知りません。スマホが便利になればなるほど、危険だとは知りつつもついつい歩きスマホ、ながらスマホをしてしまう人は増えていくような気がします。僕は携帯電話やスマホを持っていません。僕の母は、僕に『危険な目に遭ってほしくない。』と思っているそうです。そう思ってくれる母を僕は信頼しています。歩きながら、自転車や自動車を運転しながら、スマホで誰と、何とつながりたいのでしょうか。つながるべきものは、スマホの向こうにいる表情の見えない人でも、スマホの向こうにあるネット世界の情報でもありません。僕たちがつながるべきものは、いつも側にいて、心配してくれる血の通った家族や友だち、そして彼らが発するぬくもりのある言葉のはずです。スピードや効率に価値を見だし、一分一秒を争う情報化社会は、僕たちの安全を守ってはくれません。何でもできるスマホでも人の命は守れないのです。人の命を守ってくれるのは、かけがえのない人を思う心、かけがえのない人が自分を思ってくれる心なのです。法律や条例で規制しなくても、一人一人の意識で必ず変わっていくはずで、「歩きスマホ」「ながらスマホ」が世の中からなくなることを願っています。

※ 紙面の関係上、途中略させていただきました



全校生徒で願いを込めて風船を飛ばしました

2015,9,12

### 今後の予定

- 9月28日 部活動強化週間
- 9月30日 新人戦選手壮行会
- 10月 9日～10日 甲府市新人体育大会
- 16日 中間テスト
- 17日 市制施行記念日
- 20日～22日 小中合同あいさつ運動
- 24日 北口清掃
- 28日 校長会テスト
- 31日 学校開放日 道徳参観 学級懇談会



